

震度5以上の地震が発生した場合の本校の対応について（お知らせ）

平成23年3月に東日本大震災が発生して以降、地域の防災意識は年々高まっています。元来、干拓地である藤田地区は、大地震が発生した場合、津波・液状化等による大きな被害を及ぼすことが、岡山市危機管理課をはじめとする関係機関から指摘されています。第三藤田小学校では、防災意識を高めるために年間4回の避難訓練を計画・実践しています。なかでも、近い将来高い確率で起こると予測されている『南海トラフ巨大地震』については、児童の安全確保を第一に考え、下記のとおり具体的な対応マニュアルを策定しています。

ご家庭におかれましてもこのマニュアルの内容を熟読されるとともに、地震発生時の対応についてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

震度5以上の地震発生時における第三藤田小学校緊急対応マニュアル

1 在校時

- (1) NHK放送・防災無線で**津波警報**が発表された場合

基本的には、第三藤田小学校校舎2階で待機します。お迎えに来ていただき、児童の引き渡しをします。家族が不在の場合は、学校で待機します。

予測される津波の状況によっては、**興陽高校**に緊急避難をします。その際は、興陽高校にお迎えに来ていただきます。

- (2) 「津波なし」の場合

第三藤田小学校の校舎2階で待機をします。

お迎えに来ていただき、引き渡します。家族が不在の場合は、学校で待機します。

2 登下校時

(児童)

- ①頭部を保護し、身を低くします。車道に出ません。建物、ブロック塀、窓ガラスから離れます。
- ②揺れが収まったら、状況に応じて自宅または学校に避難します。自宅や学校に避難することが困難な場合は、教職員や保護者、地域の人に来るまで待機します。

(学校)

- ①保護者、地域と連携して児童の所在を確認。児童が学校に避難してきた場合、お迎えに来ていただき、お子様を引き渡します。
- ②家族が不在の場合は、学校で待機します。

(地域との連携)

- ①藤田安全パトロール隊他、地域の皆様のご協力をいただき、安全な避難を推進します。

3 在宅時

- ①各ご家庭で避難等の行動に移ります。
- ②日頃から避難について、家庭内でのルール、取り決めに話し合い、家族間の共通理解をします。
- ③家庭連絡により、児童の安否確認を行います。(学校)

4 その他

- ◎お子様の引き渡し先は、児童調査書の「緊急時の連絡先」に記入されている方を原則としますが、それ以外の方が来られた場合も、その時の状況により判断します。
- ◎**震度4以下の地震の場合、児童は原則として通常通り授業をして下校**させます。お迎えは必要ありません。
- ◎地震が発生した場合、ライフラインが寸断されてメールや携帯電話等が使えないことも考えられ、混乱も予想されます。日頃から最悪の状態を想定しての連絡方法を話し合い、緊急時に対応していただけるようお願いいたします。
- ◎今回のマニュアルは、今後、避難訓練の反省やPTA、地域の皆様のご意見をふまえて、その内容に変更が生じることを申し添えます。

【参考資料】

南海トラフ巨大地震

○想定地震

マグニチュード9.1

○津波の到達時間及び高さ

地震発生後、津波の第一波は、約2時間50分前後で岡山市沿岸に到達すると想定。その際の最大津波高は、約2.6m(南区)、平均津波高は、約2m程度。三藤小学区では、津波高は、1m～3m。第三藤田小付近では、2m～3m。教室の床から天井までの高さが約3mですので、最大津波高の場合、南館・北館ともに1階部分は水没する可能性があります。

※参考資料 出典元

「岡山市防災マニュアル 津波／洪水・土砂災害 ハザードマップ」

岡山市消防局 危機管理課 編

岡山市北区鹿田町1-1-1

電話 086-803-1082

FAX 086-234-7066